

## 調査速報

# 中古車輸出月次統計（2017年1月）

中古車輸出台数は増加傾向続くも、市況軟化が続いており収益環境は依然厳しい。スリランカは復調の兆し

主任研究員

深尾 三四郎

045-225-2375

fukao@yokohama-ri.co.jp

### 要約

- 中古車輸出台数の増加傾向続く。乗用車も商用車もトレンドは上向き。スリランカ市場に復調の兆し
- しかし、金額ベースでは前年割れが続く。市況軟化が続いており、収益環境は依然として厳しい。
- 本年1月より電動中古車の輸出台数が判明。世界的な電動化の波に中古車流通業者も乗れるかに注目

### 1. 17年1月の中古車輸出台数（季調値）は年率136万台と16暦年実績118万台を上回る

国内自動車流通業者に注目されている、中古車輸出の動向について、財務省貿易統計を基にした月次統計レポートの発行を開始する。

なお、3月1日発行「国内新車販売統計（2017年2月）」において、1月の中古乗用車の輸出統計についてコメントしたが、同レポート発行後、財務省が本年1月より電動車両に対して新しいH.S.コードを付与していることが判明した（詳細は5ページ）。同レポートでの集計にはこの新カテゴリーの数値を捕捉していなかったため、実態より少ない数字となっていた。本レポートにて訂正し、お詫び申し上げます。

2017年1月の中古車輸出台数（乗用車+商用車：貿易統計8703/8704項）は前年同月比5.8%増と3か月連続で前年超えとなり、季調済年率換算値（X-12-ARIMAにて当社試算、以下SAAR）も前月比1.3%増の136万台と5か月連続の増加となった。3か月後方移動平均値でみるトレンドは前年9月を底に増加基調が続いており、中古車輸出台数は復調している（図表1）。

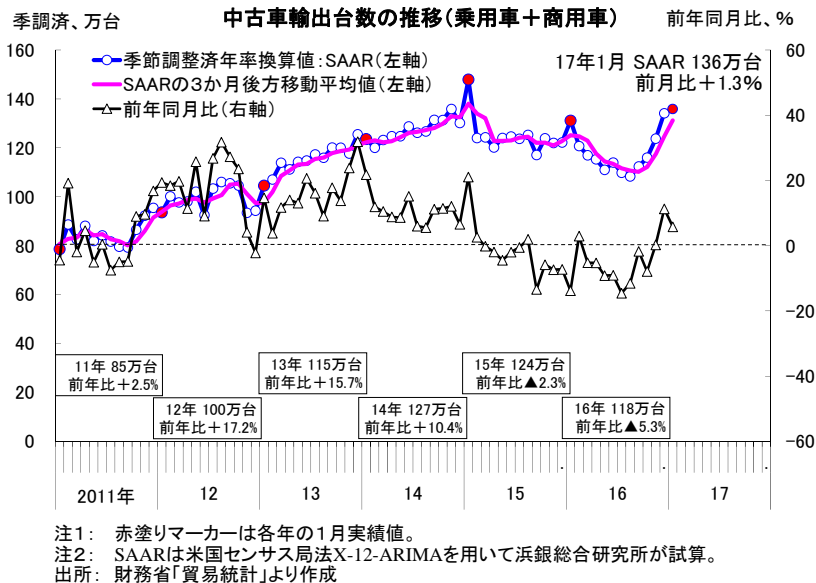
内訳を見ると、中古乗用車輸出台数は前年同月比6.3%増と3か月連続の前年比プラスとなり、SAARも前月比0.4%増と5か月連続の増加となった（図表2）。中古商用車輸出台数も前年同月比3.5%増と2か月連続で前年超えし、またSAARも前月比5.4%増と3か月連続で増加するなど堅調であった（図表3）。

もっとも、輸出金額に目を向けると、1月の中古車輸出金額は前年同月比0.9%減の439億円と11か月連続で前年割れとなり、厳しい状況が続いている（図表4）。うち、中古乗用車の輸出金額は同0.5%増とほぼ前年並みにとどまり、中古商用車は同6.0%減の94億円と11か月連続の前年割れとなっている（図表5、6）。従って、輸出される中古車の平均FOB価格は前年割れの状況で、市況軟化が続いている。国内大手オークション会場での成約単価が前年割れしていることから、堅調な国内新車販売を背景とした中古車発生量の増加により、国内中古車市場の需給が緩んでいると言える。中古車輸出台数の復調は、海外需要が回復しているというよりも、国内中古車市況の軟化が台数押し上げに大きく寄与していると考えられ、輸出金額の動きからも判るように、中古車輸出市場が本格回復したと判断するのは依然難しい状況と言える。

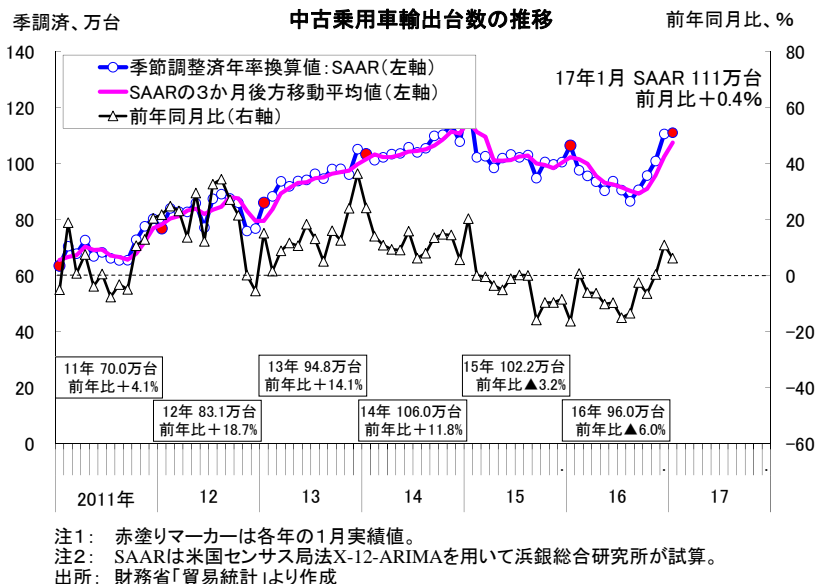
中古乗用車輸出台数にフォーカスすると、主要仕向け地別では、1月統計ではチリやモンゴルといったFOB単価が40万円を切る低価格車が流通している国への輸出が大きく伸びたことが目を引いた（図表7）。他方、高単価市場であるバングラデシュ向けも伸長したことで、市場全体のFOB単価は昨年12月の51.2万円からこの1月には56.5万円にまで上昇した（図表8）。

高年式・高額車両の代表市場であるスリランカ向けの1月の中古乗用車輸出台数（SAAR）は、前月比78.5%増と急伸した12月とほぼ同水準の前月比0.8%増（3.2万台）となり、復調の兆しがみられる（図表9）。

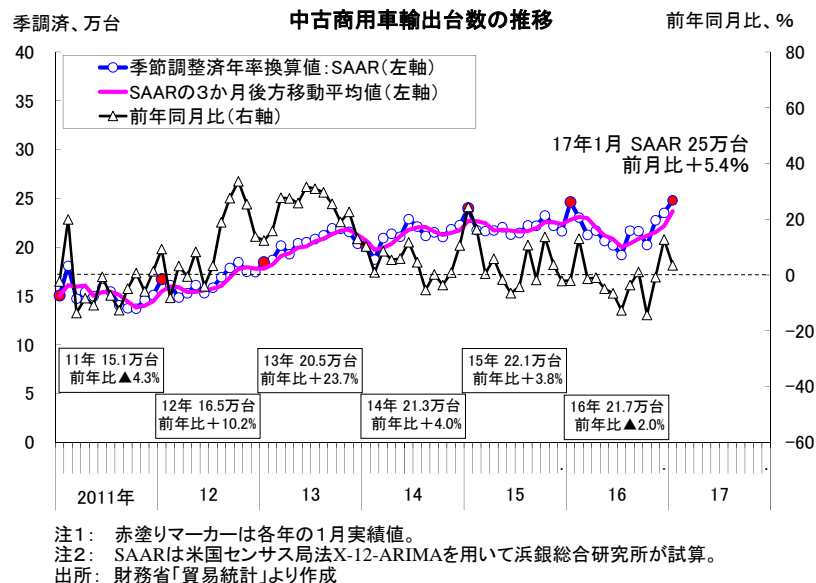
図表1 中古車輸出台数の増加基調が続く



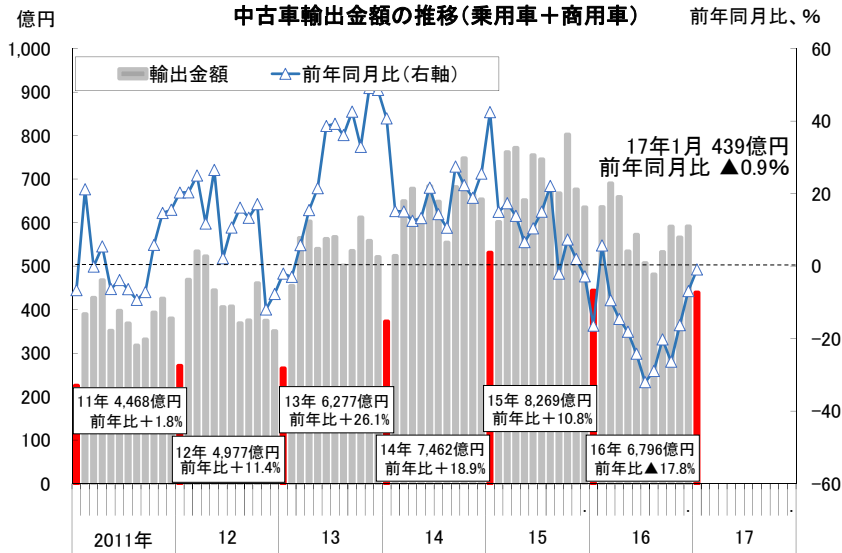
図表2 中古乗用車の輸出台数が復調



図表3 中古商用車輸出台数も上向いてきている

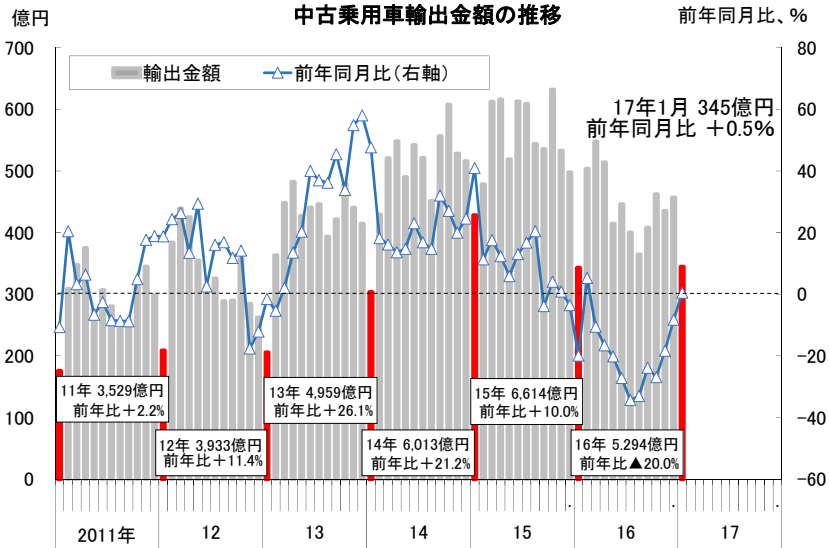


図表4 中古車輸出金額は前年割れが続いている



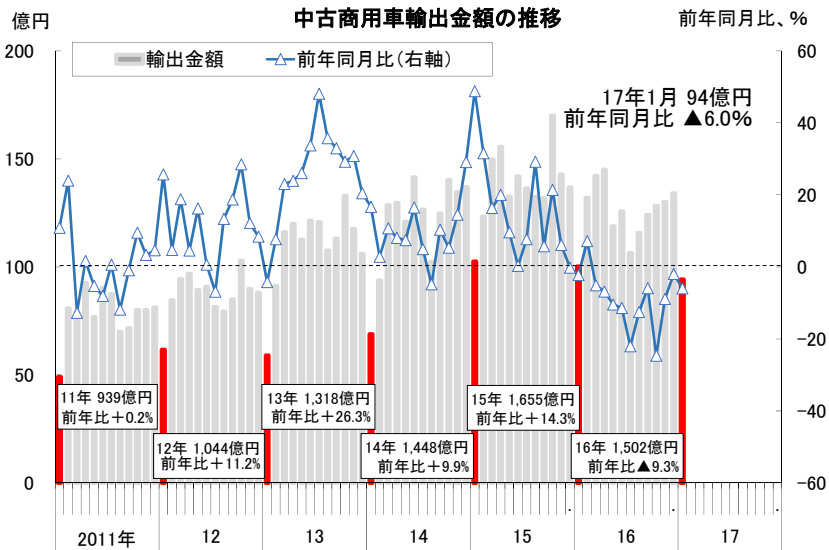
注: 赤塗りマーカーは各年の1月実績値。  
出所: 財務省「貿易統計」より浜銀総合研究所が作成

図表5 中古乗用車輸出金額は久方ぶりに水面上に浮上



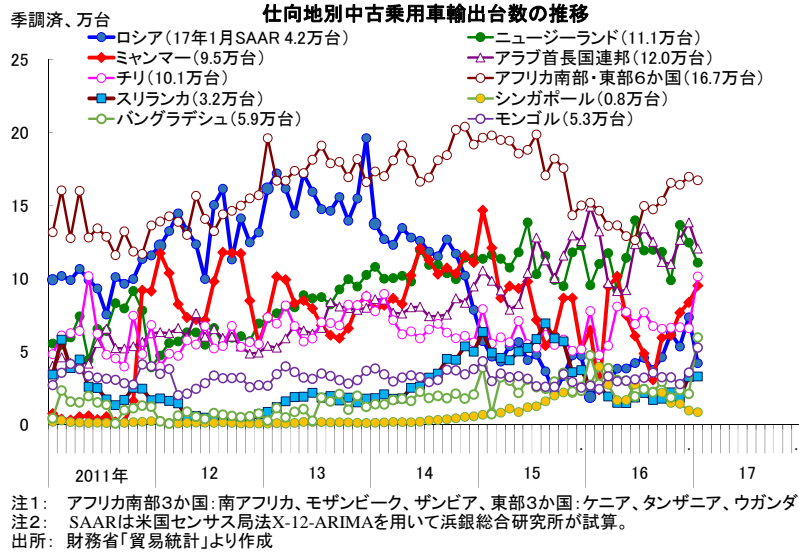
注: 赤塗りマーカーは各年の1月実績値。  
出所: 財務省「貿易統計」より浜銀総合研究所が作成

図表6 中古商用車輸出金額の低迷が足を引っ張っている

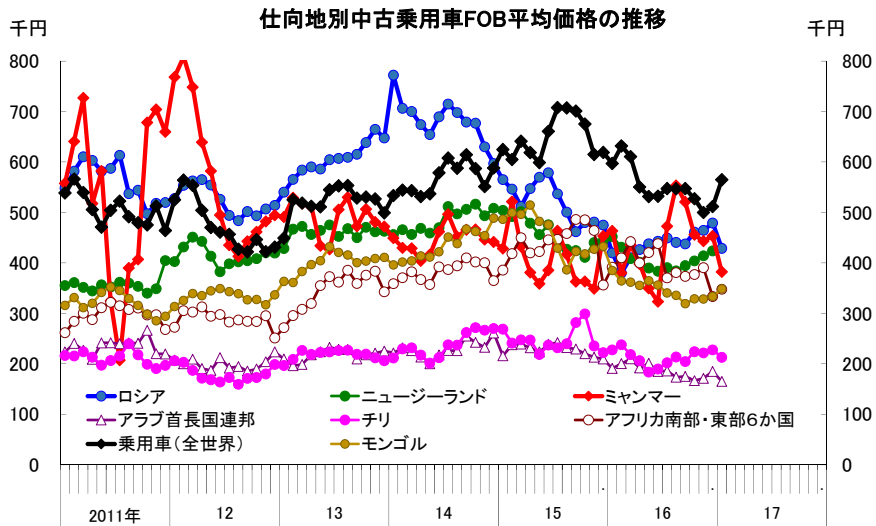


注: 赤塗りマーカーは各年の1月実績値。  
出所: 財務省「貿易統計」より浜銀総合研究所が作成

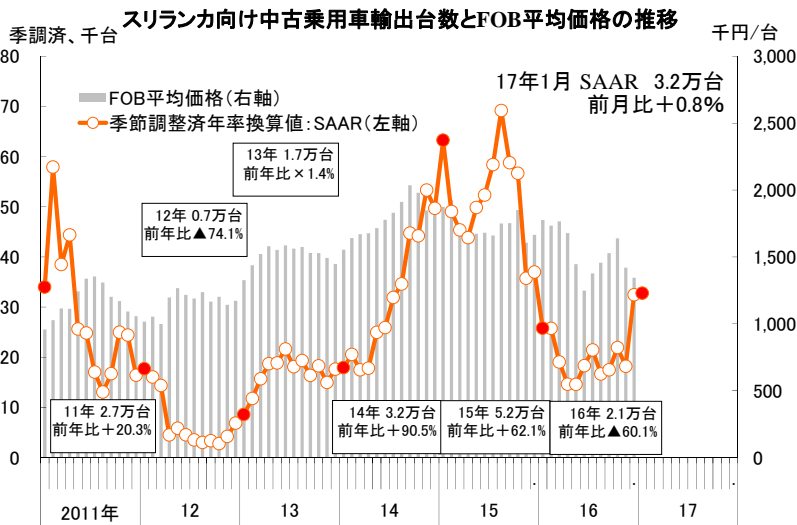
図表7 チリ、モンゴル、バングラデシュ向け中古乗用車台数（SAAR）が大きく伸長



図表8 1月の中古乗用車の市況は改善したが前年割れが続く



図表9 スリランカ向け中古乗用車輸出台数には復調の兆し



2. 電動中古車の輸出実態が判明：モンゴルが台数で最大市場。金額ベースではスリランカが王座君臨

前述の通り、本年1月の統計から電動車両に対するH.S.コードが新規付与されたことで、ハイブリッド車、プラグインハイブリッド車、電気自動車（燃料電池車含む）の輸出台数が判るようになった（図表10）。

図表11に1月の電動車両の品目別国別輸出台数をまとめた。注目点は以下の4点である。①低年式の廉価ハイブリッド車の主要仕向け地となっているモンゴルが電動中古車の輸出台数ランキングでトップとなっている。②高年式ハイブリッド車の主要市場であるスリランカ向けは金額ベースでトップに君臨している。③電気自動車（燃料電池車含む）の中古車輸出台数はニュージーランドが最大市場となっている。④電動車の中古車平均FOB価格は84万円と中古車輸出全体平均の59万円を上回っており、世界的な電動化の流れで中古車輸出市場においても電動車の流通が増えることは、中長期的にも同業界の市況改善に貢献しよう。

電動車の中古車輸出市場の動向を追っていくことの意義、そして、流通業界関係者にとってビジネス機会を探る手掛かりになる材料として期待できることは以下の3点。すなわち、①世界的に電動車両の普及が進む中、日本で発生する電動中古車の輸出先としてどの国をターゲットとするか、②電子部品の交換・メンテナンスなど特殊技能を要する電動車の整備・アフターサービスでの事業機会がどこにあるか、③リチウムイオン電池を中心としたリサイクル・リユースビジネスのニーズがどこにあるか、である。

図表10 2017年1月より電動車両の輸出入台数が明らかに

H.S. code	品名
87.03	乗用自動車その他の自動車(ステーションワゴン及びレーシングカーを含み、主として人員の輸送用に設計したものに限るものとし、第87.02項のものを除く。)
8703.10	— 雪上走行用に特に設計した車両及びゴルフカーその他これに類する車両
8703.21	— その他の車両(ピストン式火花点火内燃機関(往復動機関に限る。))のみを搭載したものに限る。)

2017年1月より新たに集計される品名

8703.40	— その他の車両(駆動原動機としてピストン式火花点火内燃機関(往復動機関に限る。))及び電動機を搭載したものに限るものとし、外部電源に接続することにより充電することができるものを除く。) =ハイブリッド車(ガソリンエンジン搭載)
100	--- 中古のもの
900	--- その他のもの
8703.50	— その他の車両(駆動原動機としてピストン式圧縮点火内燃機関(ディーゼルエンジン及びセミディーゼルエンジン)及び電動機を搭載したものに限るものとし、外部電源に接続することにより充電することができるものを除く。) =ハイブリッド車(ディーゼルエンジン搭載)
100	--- 中古のもの
900	--- その他のもの
8703.60	— その他の車両(駆動原動機としてピストン式火花点火内燃機関(往復動機関に限る。))及び電動機を搭載したもので、外部電源に接続することにより充電することができるものに限る。) =プラグインハイブリッド車(ガソリンエンジン搭載)
100	--- 中古のもの
900	--- その他のもの
8703.70	— その他の車両(駆動原動機としてピストン式圧縮点火内燃機関(ディーゼルエンジン及びセミディーゼルエンジン)及び電動機を搭載したもので、外部電源に接続することにより充電することができるものに限る。) =プラグインハイブリッド車(ディーゼルエンジン搭載)
100	--- 中古のもの
900	--- その他のもの
8703.80	--- その他の車両(駆動原動機として電動機のみを搭載したものに限る。) =電気自動車(燃料電池車含む)
100	--- 中古のもの
900	--- その他のもの

出所：財務省「貿易統計」より作成

図表 11 モンゴルが電動中古車の輸出台数でトップ。金額ベースではスリランカが王座に君臨

品目/国名(仕向け地)	2017年1月		
	輸出台数 (台)	輸出金額 (千円)	FOB平均価格 (万円)
<b>ハイブリッド車(ガソリンエンジン搭載)</b> 8703.40.100			
モンゴル	2,592	891,419	34
スリランカ	1,258	1,925,340	153
ミャンマー	618	364,602	59
パキスタン	455	504,135	111
ロシア	256	133,269	52
シンガポール	240	516,417	215
ニュージーランド	233	140,227	60
モーリシャス	155	175,277	113
香港	110	127,703	116
トリニダード・トバゴ	103	213,027	207
アイルランド	72	35,160	49
英国	64	48,820	76
ケニア	50	46,436	93
フィジー	40	16,820	42
ジャマイカ	33	36,274	110
セーシェル	28	58,128	208
大韓民国	19	25,552	134
ジョージア	12	4,493	37
タイ	11	45,585	414
キプロス	11	6,066	55
アラブ首長国連邦	9	3,620	40
オーストラリア	9	31,266	347
マレーシア	8	13,870	173
モルディブ	5	2,231	45
マカオ	4	11,400	285
ケイマン諸島(英)	4	3,019	75
ザンビア	4	1,643	41
バングラデシュ	3	3,927	131
バハマ	3	1,249	42
東ティモール	2	996	50
トルコ	2	1,028	51
ナイジェリア	2	570	29
タンザニア	2	1,550	78
マラウイ	2	626	31
フィリピン	1	1,022	102
アフガニスタン	1	306	31
バルバドス	1	2,402	240
ガイアナ	1	2,690	269
ブルンジ	1	461	46
ウガンダ	1	206	21
<b>合計(①)</b>	<b>6,425</b>	<b>5,398,832</b>	<b>84</b>

出所: 財務省「貿易統計」を基に浜銀総合研究所が作成

品目/国名(仕向け地)	2017年1月		
	輸出台数 (台)	輸出金額 (千円)	FOB平均価格 (万円)
<b>プラグインハイブリッド車(ガソリンエンジン搭載)</b> 8703.60.100			
ニュージーランド	7	10,498	150
ミャンマー	3	616	21
ロシア	3	2,397	80
パキスタン	1	1,305	131
スリランカ	1	3,235	324
ジョージア	1	538	54
セーシェル	1	3,257	326
<b>合計(②)</b>	<b>17</b>	<b>21,846</b>	<b>129</b>
<b>電気自動車(燃料電池車含む)</b> 8703.80.100			
ニュージーランド	86	98,301	114
ロシア	15	7,960	53
ミャンマー	14	7,768	55
スリランカ	8	9,565	120
ジョージア	5	2,197	44
モルディブ	1	603	60
バハマ(英)	1	1,613	161
バルバドス	1	1,050	105
クック	1	635	64
<b>合計(③)</b>	<b>132</b>	<b>129,692</b>	<b>98</b>
<b>電動車合計(=①+②+③)</b>	<b>6,574</b>	<b>5,550,370</b>	<b>84</b>
<b>中古車輸出合計</b>	<b>74,874</b>	<b>43,883,466</b>	<b>59</b>
<b>電動車シェア</b>	<b>8.8%</b>	<b>12.6%</b>	
うち			
ハイブリッド車(ガソリンエンジン搭載)	8.6%	12.3%	
プラグインハイブリッド車(ガソリンエンジン搭載)	0.0%	0.0%	
電気自動車(燃料電池車含む)	0.2%	0.3%	

本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。